

NPO法人

気象キャスターネットワーク 会報

2013 第9号

空色レポート



特集

・気象キャスターネットワークの活動がもり沢山！
・気象キャスターによるお天気のお話
などなど

特別警報

特別警報



2013年山口・島根豪雨の被害(山口県)



雨が強くなると... 災害が起こるかもしれない...
 ・気象情報や外の様子に注意しよう
 ・いつでも避難できるように準備しよう

大雨注意報

大雨が降り続けると... 大きな災害が起こりそう
 危なそうなら早めの避難を!

大雨警報

特別警報が出ていなくても危険!!

さらにはげしい雨が続くと... 非常事態!!
 命を守るために、今すぐ行動して!!

大雨特別警報

◆特別警報とは？

「特別警報」は、尋常でない大雨や津波などが予想され、重大な災害が起こる危険性が非常に高まっている時に、強く警戒を呼びかけるために作られた新しい防災情報です。

◆なぜ特別警報が作られたの？

これまで大きな災害が起こった際に、気象庁は「気象情報」や「大雨警報」で重大な災害への警戒を呼びかけたものの、迅速な避難行動に必ずしも結びつきませんでした。そこで、大規模な災害の発生が切迫していることを伝えるために、この「特別警報」を創設しました。

◆どんな種類があるの？

気象については「大雨」、「大雪」、「暴風」、「暴風雪」、「波浪」、「高潮」の6種類です。地震、津波、火山についての「緊急地震速報」、「大津波警報」、「噴火警報」も特別警報に位置付けられますが、こちらは従来通りの名称で伝えられます。

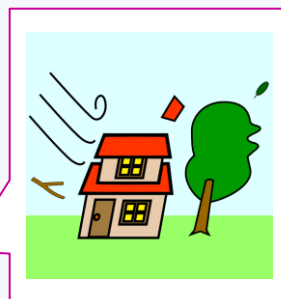
◆特別警報の種類

従来の名称で発表される

- 緊急地震速報
- 大津波警報
- 噴火警報



「○○特別警報」と発表される
 大雨 大雪 暴風 暴風雪
 波浪 高潮



特別警報が出ていなくても、気をつけなくてはいけないんだね!





◆どれくらい危険なの？

特別警報が発表される「重大な災害が起こる危険性が非常に高い」とは、その地域にとって50年に一度あるかないかの大雨や暴風、高潮などが起きる時です。最近の災害では、2011年の東日本大震災や台風12号、今年の山口県・島根県や秋田県・岩手県の大雨が特別警報に当てはまります。



◇特別警報に相当する過去の災害◇

気象	2012年	九州北部豪雨	死者行方不明者32人
	2011年	台風12号	死者行方不明者98人
地震・津波	2011年	東日本大震災	死者行方不明者18,000人以上
	2008年	岩手・宮城内陸地震	死者行方不明者15人
火山	2000年	三宅島	全島民避難
	2000年	有珠岳	15,000人以上避難
今年(2013年)	7月28日	山口・島根の大雨	死者行方不明者4人
	8月9日	秋田・岩手の大雨	死者8人

◆特別警報が発表されたら、どうすればいいの？

特別警報が発表された時には、危険が身近にせまっている可能性が高いです。ただちに命を守る行動をとることが重要ですが、周囲の状況に応じて冷静な判断をする必要があります。すでに浸水が広がっている時には、無理に避難をせずに家の中で2階に移動したほうが安全な場合もあります。いざという時のために、ふだんから周囲の危険、あふれそうな川がないか、崩れそうな山や崖がないか、確認しておきましょう。

また、大雨など時間とともに危険度が増していく時には、特別警報の前に気象情報や注意報、警報、土砂災害警戒情報などが段階的に出されます。特別警報が発表されていなくても、早め早めの行動をとることが大切です。

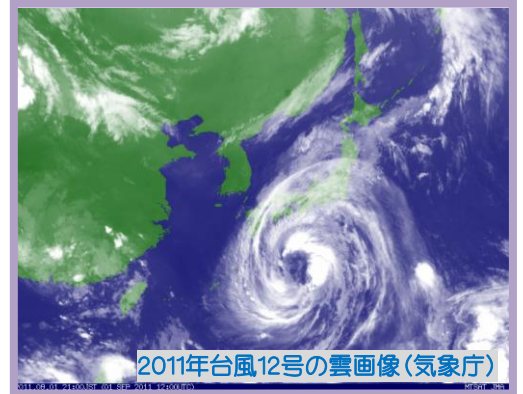
[水越]



まわりの様子を
よく見よう！



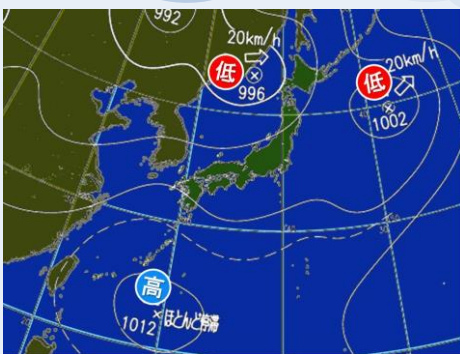
2011年台風12号の被害(国土交通省)



2011年台風12号の雲画像(気象庁)

天気図レポート

2013年8月9日



各地で猛烈な暑さが続いていた今年8月上旬、秋田・岩手で突如記録的な大雨が降りました。地上天気図を見ただけでは、東北地方に低気圧も前線もなく、大雨が降るようには見えません。ところが梅雨末期に西日本に流れ込むような熱帯の蒸し暑い空気が東北まで北上し、1時間降水量は鹿角(秋田)108.5ミリ、栗石(岩手)78ミリなど観測史上最大を記録。

土砂災害により秋田新幹線の運休が長引くなど、お盆の帰省客にも影響が出ました。

特別警報の運用開始直前だったこともあり、この雨は「特別警報」レベルの大雨として注目されました。一方で、事前の予測が難しかったこともあり、テレビなどマスメディアによる警戒の呼びかけが非常に難しい状況でした。

この事例のような不意打ちの豪雨に対しては、情報を自ら得る努力をして、「考える」「気づく」「行動する」意識が欠かせません。例えば、天気の場合はテレビやラジオから情報を得る。自分の地域の最新の状況については、スマートフォンを利用する。いざという時に備え、普段から複数の情報を活用するようにしましょう。

[田代]

講師を派遣します

気象キャスターや気象予報士が、お天気や防災、環境についての講演や講座、イベントなどを全国各地で開催しています。全国に約200名の気象キャスターや気象予報士が会員として所属しています。専門的な気象や防災の講演から、小さな子どもたちが楽しく学べるイベントまで、さまざまなご要望にお応えさせていただきます。詳しくは、お問合せ下さい。



キャスターレポート

いまむら りょうこ
今村 涼子 さん
 テレビ朝日 気象キャスター
 気象予報士

天気解説は “冷静と情熱の間”



今年の夏は、高知県内で41℃まで上がり国内の最高気温を更新、また集中豪雨も多く発生した一方で、記録的な少雨となるなど、天気の大きなニュースが相次ぎました。

メディアでも連日、「日本列島熱帯化」「スーパー猛暑」「ゲリラ豪雨頻発」などの過激な言葉が飛び交い、天気の良い日はないくらいでした。このように近年、激しい気象現象が増加傾向にあるのに伴い、天気がニュースの主演になることが増えています。すると当然、気象予報士が解説する機会も多くなってきていますが、そんな中、気象予報士として私が大事にしていることは、“冷静と情熱の間”という意識です。

解説するからには、もちろん一人でも多くの人に見てもらいたい、分

かってもらいたい、という気持ちで臨みます。そのためには、なるべくインパクトのある内容や表現、構成、演出を考え出す情熱が必要です。視聴者を、なるほどと思わせる何か斬新な方法はないかと、いつも頭をひねっています。ただ、その情熱だけで突っ走ってしまうと、いつのまにか表現がエスカレートしてきて、事実を乗り越した煽った内容になったり、本来伝えるべきことをないがしろにしてしまう危険性があります。天気は、ニュースの中で、まだ起こっていない未来のことを扱える唯一の項目であるが故、内容や表現がエスカレートしやすい面があります。そうならないように、現象や予想をそのものの大きさ通りに捉え、一番伝えるべきことは何かを見極め、適切な言葉で表現する冷静さが必要なのです。加えて、すぐに「異常」という言葉を使いだがる今の天気報道の中で、その現象が本当に「異常」と言えるのかと、ブレーキをかける役割が、気象予報士にはあると思います。

ただ、その一方で、逆に冷静になりすぎてしまうと、今度は内容や表現を抑えることばかりに気をとられ、事象を過小評価してしまい、大事な要素を見落としてしまう危険性もあります。この危険性は、警戒を呼びかけるべきタイミングを逃してしまうという、防災上の落ち度にもつながりかねません。ということで、“冷静と情熱”この二つのバランスがとれて初めて、視聴者に信頼して見てもらえる天気解説ができるのだと思います。気象予報士になって14年、まだまだ“冷静と情熱の間”を揺れ動くこともあります。なんとかバランスをとりながら、真に伝わる天気解説をしていきたいと思っています。



気象キャスター デビューレポート



デビュー
 おめでとう!



北海道文化放送
鈴木 裕之 さん
 気象キャスター

北海道は、大雨に弱く、冬は厳しい…けど、美しく雄大な自然が魅力的です。原稿講座で学んだ事を今後も大切にして、防災に役立つだけでなく、自然の不思議さも伝えられるキャスターを目指したいと思っています。



NHK金沢
池津 勝教 さん
 気象キャスター

NHK金沢放送局の池津勝教と申します。「弁当忘れても傘忘れるな」という石川県の気まぐれな気象と付き合えるのは、気象予報士として冥利に尽きます。正確かつ分かりやすい情報を伝えられるように今後もがんばります。

気象キャスター派遣

気象キャスターネットワークでは、気象キャスターを目指す人を応援しています。天気原稿の書き方やカメラに向かってのプレゼンテーション訓練などの講座を開催するとともに、全国各地のテレビ局に気象キャスター派遣しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。



質問レポート

雨ってどうやって
はかっているの？



世界でも多雨地帯である日本は、年平均1718ミリの降水量があり、これは世界平均(880ミリ)の約2倍に相当する量です。このように雨や雪とは深い関わりがありますが、雨の量はどのようにして測っているのでしょうか。

現在は「自記観測」という方法をとっています。これは、機械を使って自動的に測定・記録する方法で、「転倒ます型雨量計(写真)」が使われています。雨が降ると、口径20センチの「受水器」に入り、そこから「転倒ます」と呼ばれるところに入ります。「転倒ます」は三角形の2つの容器がシーソーのような構造になっていて、

雨量0.5ミリに相当する量が容器に貯まると反対方向に倒れて水を下に排出します。そしてもう片方のますに雨が貯まるようになります。このシーソーが交互に倒れた回数が、「自記紙」と呼ばれる紙に自動的に記録されることによって、雨の量を知ることができます。ちなみに雪の量を測るときは、ヒーターで雪を溶かしてから降水量を測るように作られています。最大1時間降水量の日本記録は153ミリ(千葉県香取・1999年10月27日、長崎県長浦岳・1982年7月23日)で、これは転倒ますが1時間に306回倒れたことになります。



転倒ます型雨量計

今年2013年は記録的な大雨になった所もあれば、少雨に悩まされた所も。ポーランドに、「私がいないと私を求めるのに、私がいると私の前から逃げていく。私は誰でしょう?」というなぞなぞがあります。答えは「雨」ですが、何となく納得できますね。

池津 勝教さん
(石川県・一般会員)



食レポート

牡蠣



いよいよ牡蠣シーズンの到来ですね!夏の岩牡蠣も美味しいけど、やっぱり王道は冬の真牡蠣。生はもちろん、焼き・フライ・鍋など定番から、お好み焼きや牡蠣めし、グラタンにチャウダーなど多彩に味わえる上、海のミルクともいわれる完全栄養

食品です。そんな牡蠣の大敵が、暑さと大雨。特に秋に海水温が高いままだと大きく成長できず、酷い時には大量死してしまうことも。また、集中豪雨や台風など大量の降雨で養殖場周辺の海水濃度が一時的に下がることも、深刻なダメージとなるそうです。去年の秋も高い海水温による牡蠣大量死のニュースがありました。それを上回る猛暑と豪雨に見舞われた今年、全国の産地で牡蠣が無事に収穫できることを祈るばかりです。しかもこの先、温暖化が進んで猛暑や豪雨がさらに増えたら一体どうなってしまうのか…。美味しい牡蠣のためにもさらなる温暖化対策を!と、決意を新たにする今日この頃です。

鈴木 秀美さん
(神奈川県・正会員)



フォトレポート



南半球のチリは春本番。街を彩るのは、シルエラ(梅)やアーモンドの花です。桜を見ているようで、心が和みます。

刈岡 友美さん
(チリ・正会員)



競走馬のまち、新冠町の風景です。この日は濃い霧が出て、夏なのにヒンヤリ。バイク移動だと、寒いくらいでした。

鈴木 裕之さん
(北海道・一般会員)



PR

山の天気予報のご案内

安全な登山は、信頼できる山の予報から。山の天気は、山岳気象のプロにおまかせ!山岳気象に精通した気象予報士が、全国18山域、59の山頂の天気を毎日予想。大荒れ情報や気象レーダー、高層天気図も掲載しています(有料)。詳しくは「ヤマテン」で検索

株式会社 ヤマテン





東京都台東区 協力

当会の事務局がある台東区の「学びのキャンパスプランニング」に協力して、台東区にある保育園、幼稚園、小学校にて『防災』をメインテーマに授業を行います。今回は、それぞれの授業の様子をご紹介します。

保育園・幼稚園での授業



保育園・幼稚園では、「お天気はかせ」と「サイぼうくん」が授業を担当しています。歌って、踊って、お絵かきをして、ゲームがあり、はかせのまほう？もあって、40分の授業は楽しくてあっという間に過ぎていきます。「雷や台風の際に安全に過ごすためには、どんなポーズをしたらいいのかな？」とカードを使って、からだを動かしながら覚えてもらいます。例えば、「雷がきたらー?」「かめさんのポーズで、からだをまるめてかめさんみたいにまるくならう!」「みんな元気にからだを動かして、参加してくれます。また、好きなお天気をきいてみると、みんないろいろなお天気を元気よく答えてくれました! 写真⇒



は、授業の最後にみんなとハイタッチ!「またきてねー!」がとってもうれしかったです!

小学校での授業

小学校の授業は、3時間かけてじっくり防災と地球環境の授業を行います。実験をして、映像や写真もたくさん使用しながらわかりやすく話をしています。特にワークショップの時間をしっかりとって、地域の地図やハザードマップを使って、雨が降るとどこが危ないかな? など、色を塗りながら参加してもらいます。自分たちの住んでいる地域の資料を使用しているので、熱心に作業を進めてくれます。自然災害が起きた時に、身を守る行動ができるよう、日ごろから避難方法や地域の様子を知っておくことは、とても大切です。



気象キャスターネットワークでは、
さまざまな出前授業を行っています!

防災授業の他にも、気象や環境などをテーマとしたさまざまな出前授業を行っています。授業応募の告知は当会 HP に掲載していますので、是非ご覧下さいませ。

協賛企業・団体募集のご案内

子どもたちへの防災や気象の授業・被災地支援活動を進めております。防災の出前授業では、竜巻や豪雨、台風への備え、地震・津波の仕組みなど、実験やワークショップをしながらわかりやすく授業を行います。空(天気)と大地(地震)に関心を持ち、身を守る行動につなげられるよう、ご協賛、ご協力を何卒よろしくお願い致します。

私たちキャスターが
全国の学校を訪問します!

さいめ
財目
【関東地区】
かおりさん



子供達の素直な反応が好きです。知って驚く顔。まっすぐにあがる手。みんなで実験のカウンタダウンをする声。二酸化炭素の色や匂いを確認する目。どれも、直接伝えるからこそ返ってくる反応です。これからも、沢山の学校に足を運んでいけたらと思います。

きくち
菊池
【関西地区】
真以さん



どうして?なぜ?子供の好奇心は無量大。1つ分かんると、もっと知りたくなる。2つ分かんると更に知りたくなる。その気持ちを大切にしていきたいです。一緒に学んでいく中で天気好きな子が増えたら嬉しいです。いつか一緒に天気予報ができれば嬉しいです。

しまだ
島田
【関西地区】
まさよ
雅世さん



担任の先生と違う私達が教壇に立つからか?それとも地球温暖化に興味があるからか?いずれにしても始めの挨拶時の子ども達の顔はとってもキラキラしています。このキラキラがいつまでも保てるように楽しく、好奇心をくすぐる授業ができればと思います。

7月27日
お天気実験教室 in 陸前高田

岩手県陸前高田市で親子向けイベント「たのしく学ぼう！お天気実験教室」を開催しました。気象キャスターネットワークが毎年実施している東日本大震災の被災地支援の一環として、今年も開きました。教室では、気象キャスター・気象予報士の会員の皆さんにお天気クイズを1問ずつ出題してもらい、会員から会員へバトンをつなぐ「リレー形式」で講座を進めていきました。雲や雨、天気予報などお天気に関する様々なクイズに挑戦、サイぼうくんのお天気実験も交えて行い、とても盛り上がりました。また、南極越冬隊の経験が

あり、当会の会員でもある武田康男さんの南極映像コーナーでは雄大な南極の風景や生息する可愛いペンギンの様子などの映像が流れ、来場者の方はじっくり映像を見ていました。

少しずつ元気を取り戻しつつある被災地の子どもたち、これからも被災地でのお天気教室を続けていきたいと思えます。



8月3日
なごや環境大学

結束力の強い東海地区の集大成！ことしで8年目を迎えたなごや環境大学の夏休み親子講座が、先日行われました。



「空の教室～雲の不思議を学んでキミも気象予報士だ！～」と題し、6時間という長丁場の講座は、雷や積乱雲、水循環の実験、十種運形の雲図鑑作りなどで、内容は盛りだくさん。ただ、これで終わらないのが、東海地区。サイボウちゃん(写真:右、着ぐるみは虫鹿キャスター)は、仮面ラ

イダーのように登場！突然のヒーロー(?)出現で、参加した親子からは歓声も。また、会員自ら撮影した雲の写真を紹介するコーナーでは、真っ黒な雲出現の10分後には激しい雷雨…。積乱雲の輪郭を描いたら、犬の顔?! など、会員が、いかに雲マニアかもわかるような内容になりました。また、史上最年少12歳11ヶ月で気象予報士に合格した甲斐友貴くん(写真:左)をゲストに迎え、参加した親子も興味津々の様子で、短しと感じるほどの6時間となりました。各会員が一丸となって作り上げた親子講座は、ことしも大盛況！来年も、頑張るぞ！

桜沢 信司さん
(愛知県・正会員)



8月3日・4日
夏休み子ども自由研究 in 沖縄

沖縄県宜野湾市では、夏休み恒例の親子講座を開催しました。当会はシャープ株式会社と協働で、「地球温暖化とエネルギー」をテーマに話をしていました。講師は、今年も沖縄県在住の仲宗根キャスター。沖縄ならではの話をはさみながら、楽しく盛り上がりました。仲宗根さんより、講座の感想をレポートしてもらいました⇒

今年で5回目の担当で、シャープさんとステージで、地球温暖化の話をして頂きました。今年4月から主催局の琉球朝日放送で、お天気番組を担当させて頂いている私は、「気象キャスター」として今回初めてステージにあがることになりました。これまでも担当させて頂いてるお仕事でしたが、今まで以上に「気象予報士」として、子供達にわかりやすく話すことの難しさを感じました。また来年も子供達の自由研究のお手伝いのできたらと思います。



仲宗根 朋美さん
(沖縄県・正会員)





キャスター講座のご案内

気象キャスター育成講座では、プロの気象キャスターが天気予報のノウハウを直接伝授しています。ビギナーコース、マスターコース、短期集中コース、個別指導コースの4つのコースを、個人のレベルに合わせた講座をお選びいただけます。

今後のキャスター講座の開催予定は下記の通りです。

◆ビギナーコース(東京)

10月18日(金)～全8回

初めて受講される方にお勧めです。

◆短期集中コース(福岡)

10月19日(土)・20日(日)

福岡にて2日目の開催です！

◆短期集中コース(札幌)

10月26日(土)・27日(日)

札幌にて初開催！



「Twitter」「Facebook」のご案内

「いいね！」してね☆

ソーシャルメディア公式アカウントを作成し、随時当会の活動紹介や、出前授業・イベント募集などをご案内しています。

ぜひ、Facebookの「いいね！」ボタンを押して、Twitterのフォローをして頂き、当会からのご案内をご利用下さい。

気象キャスター

検索

Facebook(フェイスブック)



気象キャスターネットワークとは…

◆私たちの目的◆

私たち気象キャスター・気象予報士は、環境破壊や気象災害から人命・財産を守るため、多くの人々と一体となって環境問題の解決と気象災害の軽減に関する啓発・教育活動を実践します。

◆私たちの環境教育活動◆

気象・防災・環境の知識とコミュニケーション能力を兼ね備えた気象キャスターを、理想的な『地球環境教育と防災のメッセンジャー』と位置づけ、これからの地球を支える子供達への教育を通して社会に貢献しています。

◆気象・防災知識の普及活動◆

- ・講演会やイベントへの講師派遣
- ・自然体験講座の開催
- ・気象予報士の育成
- ・気象キャスター向け講座の実施

◆HPはこちら◆

気象キャスター

検索

推薦図書レポート

『自分で天気を予報できる本』

[株中経出版]



著者 武田康男 (正会員)

空を見ていると、天気予報だけではわからない急な大雨や雷も予測できるかも?! 空の写真家で気象予報士でもある武田康男さん。全国各地で撮影したきれいな写真とついでに、わかりやすく解説されています。自分で天気を予想してみると、毎日、空を見るのが楽しくなりますね!

イベント予告

◆10月6日(日)

「お天気実験教室」 in 宮城県東松島市
お天気の講座や工作・実験コーナーなどで楽しくお天気について、学ぶことができますよ!

◆10月12日(土) 「こども環境ビデオレポート」 in 沖縄

キャスターやカメラマンを体験して、オリジナルの環境ビデオを作りましょう!

◆10月14日(月) 「お天気教室(仮)」 in 東京都水の科学館

お天気や水について、実験をしながら楽しくお勉強しましょう!

※詳しくは、当会のホームページに最新情報をご案内しています!



編集後記

お休みしていた会報が復活しました! また、会報をつくることができうれしい限りです。ちょっとレイアウトを変えてリニューアルしました。「それれば」はこれからも、まだまだ進化をしていきますので、よろしく願いいたします☆

会報『空色レポート』

バックナンバーもHPにて公開中!

WCN会報

検索

ぜひ、みてねー☆

編集・発行

NPO法人

気象キャスターネットワーク

〒110-0002

東京都台東区上野桜木 1-14-21

高遠レジデンス上野桜木 202 号室

TEL: 03-5832-9401

FAX: 03-5832-9402

発行日: 2013年10月1日(第9号)

表紙写真: 武田康男さん